

各位

2021年 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大によって非常に大きな影響を受け、未だその影響から脱却できず、依然先行きが不透明な状況下での年越しとなりました。

このように厳しい環境であった昨年は、当社の中期経営計画「New Stage 2021」の2年目に当たり、同計画で主要戦略として掲げた『海外事業拡大・新事業構築に向けた施策の実施』に努めて参りました。

まず海外事業の拡大については、台湾の新綜工業の新工場竣工に加え、一昨年12月にベトナムに設立した『SEIKO PMC VIETNAM CO., LTD.』の早期操業開始のための準備作業を進めております。今年も本年度中の操業開始に向けて、引き続き尽力いたします。

新事業構築関連では、昨年2月に、京都大学、京都市産業技術研究所、株式会社アシックス様と共に、「異分野連携による構造用セルロースナノファイバーの社会実装と価値共創に向けた取組」に関して、「第2回日本オープンイノベーション大賞選考委員会特別賞」を受賞いたしました。また8月には、当社は、NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）が公募した「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発」研究開発項目①「革新的CNF 製造プロセス技術の開発」の助成先として採択されております。

昨年度の業績につきましては、新型コロナ禍の厳しい環境下において全社一丸となって向上に努めましたが、残念ながら期初に設定した計画は達成できない見込みです。

今年度につきましても依然、不透明な環境が続きますが、本年は中期経営計画の総括の年であり、当社はグループを挙げて、中期経営計画の目標値に少しでも近づけるべく果敢にチャレンジして参ります。

今後も当社の経営ビジョンである「エコテクノロジーで未来を創る ~Explore the Future through Eco-friendly Technology~」を実践し、更なる飛躍を目指してグループ全社員が一つにまとまり、全てのステークホルダーの皆様のご期待に応じて参る所存であります。

今後とも倍旧のご支持を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年が、皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2021年 元旦



星光PMC株式会社

代表取締役社長 滝沢 智

